

番組ID	番組名	放送局	ジャンル	番組概要
205761	フランダースの犬〔51〕 二千フランの金貨	フジテレビ 25分 1975.12.21	アニメーション	1870年頃のベルギー・フランダース地方。貧しいが心優しく、画家を夢見る少年ネロと、その心の支えともなる愛犬パトラッシュを中心に描かれる優しくも哀しい物語。ジェハンじいさんは無理がたたり過労で亡くなってしまい、ネロは一人きりになった。貧しいネロに世間の風当たりは厳しく、最後の希望をかけて出品した絵もコンクールで落選してしまう。大雪のクリスマス・イブ、失意に打ちひしがれたネロとパトラッシュはお腹を空かして街をさまよひ歩く。世界名作劇場。(HD版を公開しています。オープニングはありません。ご了承ください。)
205762	フランダースの犬〔52・終〕 天使たちの絵	フジテレビ 25分 1975.12.28	アニメーション	吹雪の中、ネロは手紙を残して一人で家を出て行った。パトラッシュは弱った体で、ネロの姿を求めて探し歩く。疲れきったネロは教会のルーベンスの絵の前にいた。(HD版を公開しています。オープニングはありません。ご了承ください。)
205758	レ・ミゼラブル 少女コゼット〔1〕 ファンティーヌとコゼット	ビーエスフジ 25分 2007.01.07	アニメーション	幼いコゼットを連れて母・ファンティーヌは、村の宿屋夫婦にだまされ、娘を預けて工場のあるモントルイユ・シュル・メールへと働きに出ることを決断する。仕事を探すファンティーヌは町の市長マドレーヌに出会う。しかし、彼の本当の名はジャン・ヴァルジャンと言って、貧しい家族に与えるために一塊のパンを盗んだことで投獄され、19年間で刑務所で過ごした過去を持っていた。強欲な宿屋夫婦に預けられたコゼットは使用人として働かされつらい毎日を送るが、愛らしく力強く成長していく。世界名作劇場。
205759	ポルフィの長い旅〔1〕 父さんからの手紙	ビーエスフジ 25分 2008.01.06	アニメーション	20世紀半ば、ギリシャのシミトラ村にポルフィとミーナという兄妹が暮らしていた。父親がアテネへ出稼ぎに出ている間、二人は母親を助け、貧しいが平和な日々を送っていた。兄ポルフィには、父子で立派なガソリンスタンドを作る夢があり、妹ミーナは女優に憧れていた。そんなある日、村を突然の大きな地震が襲う。ミーナは心に大きな傷を負い兄ともはぐれてしまう。ポルフィはミーナを探すために、故郷の村を旅立っていくのだった。世界名作劇場。
205760	こんにちはアン Before Green Gables〔1〕 赤毛のアン	ビーエスフジ 25分 2009.04.05	アニメーション	カナダの田舎・ボーリングブロークに生まれた赤毛の少女アン・シャーリーは、生後すぐ両親を病で亡くしてしまう。孤児になったアンは、シャーリー家でお手伝いをしていたジョアンナ・トーマスに引き取られる。トーマス家にはジョアンナの他に、夫のパート、意地悪な2人の男の子と赤ん坊、優しいお姉さんのエリーザが暮らしていた。一家は貧く、小さなアンも家の手伝いに明け暮れる毎日だったが、独創的な想像をすることで辛い日々を明るく過ごしていた。世界名作劇場。
203827	生きる×2 心に届け！音楽の贈り物	北海道放送 25分 2009.05.17	ドキュメンタリー	ピアノの個人教授として多くの教え子を輩出してきた中山ヒサ子さんは、ここ10年ほど音楽療法に取り組んでいる。音楽を聞いたり体験することで、病に苦しむ患者の生活の質を向上しようとするものだ。日本音楽療法学会の理事長は聖路加国際病院の日野原重明さん。中山さんは研究結果の報告に日野原先生を訪ね、音楽療法の意義を聞いている。また、上智大学名誉教授のアルフォンス・デーケンさんが説く「死生学」にも興味をひかれ、生と死を見つめる活動にも参加している。番組では、難病患者と向き合う中山さんの活動を通し、音楽が持つ癒しの力を伝える。

番組ID	番組名	放送局	ジャンル	番組概要
204772	09ドキュメント静岡 フェリー通勤の眼科医 ～西伊豆週末診療所の1年～	静岡第一テレビ 49分 2009.05.27	ドキュメンタリー	過疎化が進む伊豆半島西海岸。約6年前に「西伊豆眼科クリニック」が開設された。院長の大高功医師は、平日は横浜市の医院で診療を行い、週末は伊豆のクリニックへフェリー通勤する。クリニックの診療日は土日だけだが朝から大勢の患者が訪れる。地域の高齢者の多くは白内障などの眼病を抱えているが、以前は1日ばかりでバス通院するかそのまま放置していた。番組では、大高院長や他の事例を通じて、へき地医療が置かれた状況や今後について考える。
204815	放課後おやじクラブ	中部日本放送 48分 2009.05.28	ドキュメンタリー	三重県志摩市の甲賀漁港。漁師で現役高校生の石神昭年さん46歳は、若い漁師の後継者を育成する「漁師塾」を作った。しかし入門してくるのは「オヤジ」たちばかり。頼りないオヤジたちに囲まれ、時に妻に呆れられながらも、漁師になりたがらない高校の同級生たちを弟子にしようと石神さんは奮闘する。
204793	MROエコプロジェクト ～廃車は宝の山～	北陸放送 46分 2009.05.30	ドキュメンタリー	金沢市の中小企業「会宝産業」。近藤典彦社長は使用済み自動車の中古部品を商品として再生するリサイクル事業を展開している。販売先の6割以上はアジア等海外で58か国に及ぶ。22歳で解体業として起業した社長の企業理念は「もったいない」。自動車産業を人体に例え、メーカーは車を作り広く普及させる動脈産業で、リサイクルは不要になった物を有効に循環させる静脈産業と位置づける。また、リサイクル社会が確立されていないアジア、アフリカ諸国に向けた中古部品の供給に加え、各国の実情に即した技術提供を行おうとしている。
204792	生きる×2 演じて つないで ～能楽師は元教師～	北陸放送 25分 2009.07.05	ドキュメンタリー	能楽が盛んな金沢で40年に渡り能の普及に尽力する能楽師・藪俊彦さん。藪さんが本格的に能を学び始めたのは大学生のころ。卒業後は小学校教師の一方、能楽師としての道を歩み始めた。能教室で子どもたちに教えるのが何よりも楽しみだという藪さん。毎年の発表会では、子どもたちが日頃の成果を披露する。また、藪さんは現代における新しい「能」の在り方を模索し続けている。クラシック音楽祭「ラ・フォル・ジュルネ(熱狂の日)金沢」で、藪さんは地元オーケストラと競演し「モーツァルト」で能の舞を披露した。
204749	夢 ～清里フィールドバレエ 20年の歩み～	山梨放送 51分 2009.09.13	ドキュメンタリー	日本で唯一、13日間に及ぶ野外バレエ公演「清里フィールドバレエ」。20回目を迎えた公演の様子に密着する。避暑地として大勢の観光客が訪れる清里だが、70年前は開拓地だった。清里の発展を強く願う「萌木の村」社長・船木上次さんはバレリーナの洋子さんと出会い、バレエの種をまいた。種は芽吹き、清里フィールドバレエが生まれた。20回目の野外公演は連日雨。しかし大工さんたちの協力で乗り越え公演は続いた。船木さんの二男、バレエダンサーの城さんはこの年に同じくバレリーナである優さんと結婚、二人で白鳥の湖を演じる。
204701	生きる×2 ポロは私の宝物	新潟放送 25分 2009.12.06	ドキュメンタリー	ポロ布を愛する池昌子さんは、暮らしの中で使い古された布に太い針と糸で刺し子をして、通称「ちくちく」というアートを生み出す。上手下手は関係ないと昌子さんは言う。自分の思うように縫えば1人1人違うものが出来上がる。古い布にはそこに至るまでの歴史がある。家族の思い出や、人生の大きな出来事を経験してきた布もある。それに一針一針縫うことでまた新しい表情が生まれる。使い捨ての世界とは無縁の「ちくちく」は、だからこそ見る人の心に留まるのだ。

番組ID	番組名	放送局	ジャンル	番組概要
204748	カナエルチカラ'09 太陽がくれたチャンス	山梨放送 47分 2009.12.19	ドキュメンタリー	ソーラーカーに自動車の未来を感じるプロドライバー・篠塚建次郎は、母校・東海大学の学生ソーラーカーチームのドライバー兼アドバイザーとして、世界最大のソーラーカーレース「グローバル・グリーン・チャレンジ」に挑戦する。親子ほど年齢が離れた学生たちは、かつて篠塚がパリ・ダカールラリーを制したことを知らない者も多い。世界で勝つための方法を熟知する篠塚が学生たちを指導しながらソーラーカーを製作し、大会で結果を出すまでを描く。
203830	発見！人間力 野生が教えてくれた ～女性獣医が伝える共育～	北海道放送 27分 2010.01.24	ドキュメンタリー	自然環境の保全に対するアプローチを「野生動物に接する」という仕事から広める女性がいる。苫小牧市ウトナイ湖野生鳥獣保護センターの救護員である獣医師・加藤智子さんだ。加藤さんの仕事は、建物や車に衝突したり、ごみや釣り針を飲みこんでしまった野鳥をケアし自然に返すこと。人間側の問題で傷つく鳥たちへの千差万別のケアの仕方に悩む加藤さんが最近続けているのは、「自然を守る意味を知ってもらいたい」との思いから始めた小学校への出前授業だ。
204795	発見！人間力 綱の絆 ～金沢レスキュー隊の綱引き魂～	北陸放送 27分 2010.02.02	ドキュメンタリー	災害や事故の現場で人命救助にあたる特別救助隊「金沢レスキュー隊」。屈強な隊員を率いる隊長の一人・森川茂善さんには、綱引きチームの監督というもう一つの顔がある。金沢レスキュー隊は冬場になるとトレーニングの一環として「綱引き」を取り入れていて、24年前から全日本綱引き選手権大会に出場してきた。今では最多11回の優勝、世界一になったこともある強豪チームとしてその名を轟かせている。森川さんの指導の下、この冬もトレーニングが始まった。
204790	人生、くもり時々晴れ。～若者自立支援の現場から～	チューリップテレビ 48分 2010.02.11	ドキュメンタリー	富山県にある自立支援施設「はぐれ雲」。20人余りの若者たちが、農作業を中心とした規則正しい共同生活をしながら社会を目指す。「ひきこもり」「ニート」「不登校」…。彼らは特別な存在ではなく、今を生きる若者たちだ。そこには誰もが持つ悩み、葛藤、そして希望がある。自律支援の現場にカメラが入り、もう一度社会を目指す若者たちに密着した260日の記録。
204677	にほん風景遺産 萩往還 ～志士たちの歩いた歴史街道～	ビーエス朝日 47分 2010.03.09	ドキュメンタリー	未来に残したい日本各地の豊かな“風景遺産”。四季折々の美しい日本の風景と、そこに住む人々の暮らしを紹介するシリーズ。「萩往還」とは、1604年毛利輝元が萩城築城後に山陰と山陽を結ぶ参勤交代道として開いた道。城下町・萩(萩市)と瀬戸内の港・三田尻(防府市)を53kmで結ぶ。庶民にとっても貴重な交通路となり、また幕末には維新の志士たちが江戸や京へと往来した。かつての道沿いには、藩主一行の宿泊所や休憩所となった御茶屋や駕籠建場などが置かれ、今もその面影をとどめている。
205317	NNNドキュメント'10 ガンコ親父と7人の子どもたち ～酪農大家族16年の記録～	テレビ岩手 47分 2010.05.03	ドキュメンタリー	真冬の最低気温が－15度を下回る岩手県田野畑村。ここで5男2女と父母、9人家族が共に泣き笑う。吉塚公雄さんは、夏も冬も牛を放し飼いにする究極の自然な酪農「山地酪農」を夢見て、千葉から岩手に移り住んだ。年収100万円にも満たない状態が続いたが、一か八かで始めたプライベートブランド牛乳が軌道にのり、夜逃げ寸前の生活から脱却した。しかし、成長した子どもは酪農のやり方を巡って父と対立するようになった。家族の絆と対立、そして成長を追った16年間の記録。

番組ID	番組名	放送局	ジャンル	番組概要
205523	せっちゃんおばちゃんの紙芝居	福井放送 47分 2010.05.26	ドキュメンタリー	紙芝居の“せっちゃんおばちゃん”こと津田節江さん63歳。学校を定年退職した今は児童館の館長を務めながら、年間100本もの紙芝居を講演している。そんな津田さんの影響を受けた数馬友紀子さん20歳。体に障害のある友紀さんは、動きづらい指でクレヨンを持ち、1冊の絵本を作った。また、不登校の子どもたちは津田さんの励ましを受け、自分たちも幼稚園児の前に立って紙芝居に挑戦する。津田さんの情熱が子どもたちの心を動かし始めている。
205686	目撃者f もう、ひとりにはしない ～ホームレスの人生支援・北九州から～	福岡放送 49分 2010.05.31	ドキュメンタリー	金曜日の夜、北九州市のある公園には路上生活者に弁当や薬を配るためのテントが立つ。そこに書かれた「あんたもわしもおんなじいのち」。NPO法人「北九州ホームレス支援機構」の合言葉だ。彼らは20年以上、路上生活者の支援に取り組み900人以上の自立を手助けしてきた。炊き出しや深夜の巡回で、街をさまよう人たちと出会うことが支援の原点。代表の奥田知志さんは、“ホームレス”とは仕事や住まいだけでなく「人とのつながり＝絆」を失った状態だと捉えている。それゆえ一度出会ったら最後までかかわることを信条に、路上の声に耳を傾け続けている。
205617	わかやまタイムトラベル 昭和ノスタルジー	テレビ和歌山 49分 2011.01.24	ドキュメンタリー	“昭和の記憶 僕らが生まれ育った和歌山”をテーマに、テレビ和歌山が開局の1974年から撮影してきた資料の中から、懐かしい映像で和歌山の昭和時代を振り返る。また、和歌山各地に今なお残る情緒ある風景を訪ね紹介する。「わかやまタイムトラベル 昭和ノスタルジー総集編」「和歌山昭和探訪 七曲市場、屋形通り、明光商店街、堀止周辺」「和歌山の伝統工芸に迫る 皆地笠」の三部構成。